

# ピア ネット monthly Oct 2014

## ★ ピア・ネット・マンスリーの発行について

ピア・ネット・マンスリーは、ピア・ネットで活躍する各部局の学生スタッフ活動の一部をトピックスとして紹介するものです。ピア・ネットの活動を学生と教職員に広く知ってもらうことを目的に、各団体の活動状況に合わせて定期的に発行していきます。

<ピア・ネット事務局>

## ★ ボランティアセンター

### 遠野被災地支援ボランティア（19～22次隊）を実施！

8月25日（月）～9月4日（木）の期間、市ヶ谷ボランティアセンター・チームオレンジは、岩手県遠野市をベースとし、主に陸前高田市及び大槌町で被災地支援ボランティアを実施しました。一般学生を含む46名が参加しました。今回の派遣で、19～22次の派遣となります。活動内容は、ネギ畑の整備、震災復興商品の制作補助、縄文ニンニクの栽培/出荷作業などの被災地自立支援を行って来ました。また、研修も兼ね、被災地の見学も実施しました。

#### ● 参加学生の感想

震災から3年が経ち、すでに外的な復旧はだいぶ進んでいるものかと思っていたのですが、コンビニや市役所等は仮設のものであり、住宅も高台がまだできていないことから建てられない状態でした。その高台も強大なベルトコンベアにより通常10年かかるところを3年に縮め、最善を尽くしているようですが、まだ時間のかかる印象を受けました。一方、被災地をより早く訪れた先輩方は、復興が進んでいると感じたようで、そのことから被害の大きさも感じ取ることができました。農業体験では、想像より辛く単調、そして個人の力のなさを痛感しました。この地方における高齢化や、過疎化による人手不足は被災前からのものであると思うので、そのような問題への対策も考えていくべきだと思います。（人間環境学部 1年男子）



ネギ畑の用水路作り



仮設住宅の皆さんと  
19・20次隊メンバー



ガレキを利用したキーホルダー作り



菊栽培のお手伝い



今回1年ぶりに陸前高田に訪問し、風景の変化に驚きました。1年前はまだ何も建っていなかったのに対し、今はベルトコンベアや盛り土があって、産業都市のようでした。やっと進む道が見えてきたのかと思いましたが、ベルトコンベアにしても、高台移転にしても数年かかる長いスパンの話です。どこまで現実に仕上げる事ができるのか不安です。また、今回ネギ畑で作業をやらせていただきましたが、ボランティアを受け入れることをよく思っていない人もいます。震災直後に比べて、東北の人も明るい人が多くなっていると思いますが、いつでもボランティアは難しい立場なのだと思います。（デザイン工学部 3年女子）

### 夕張まちづくりボランティアを実施！

9月11日～14日の4日間、学生9名・教職員3名の計12名で、「夕張まちづくりボランティア」を実施しました。今年度は、障がい者スポーツの普及に取り組む夕張のNPO法人「あ・りーさだ」が開催した障がい者スポーツの体験競技会「あだリンピック」の手伝いを行い、4歳～16歳の障がい児やきょうだい、保護者ら計30名とイベントを通じた交流をするなど、充実した活動になりました。また、北炭夕張炭鉱千歳坑口の雑草除去作業を実施し、生い茂る雑草で見えなくなっていた坑口が見えるようになりました。夕張の歴史と現状を知るといことで、石炭博物館や夕張シューパロダム、新しい市営住宅等の市内見学を実施しました。

#### ● 参加学生の感想



今回の参加者集合！

「私は準備などを入念にしてから行動したいタイプなのですが、今回のツアーでいきなり現場を見てもいいこと、どんなに準備をしてもコントロールできないこともあるという事を学びました。ハブニングにも対応できる柔軟さを得るために、今後も様々なことにチャレンジしていきたいです。」



障がい児スポーツイベントの実施前研修

「充実した4日間でした。この4日間で『自分ではまだまだできないこと』と『案外やってみたらできる自分』を見つけることができた気がします。今まではやってみたくても、一歩踏み出せなかったのですが、このような興味のあることに挑戦してみる機会を与えてくださり、ありがとうございました。」



初日夜の研修会の様子



炭鉱坑口周辺の整備ボランティア



『あ・りーさだ』での障がい児スポーツイベントの運営協力をしたことが印象に残りました。今まで障がい児についての経験、知識等がほとんどなかったのですが、実際に会って交流することで、障がい児に対して持っていた偏見がなくなりました。」

## ★ピア・ネット

## ピア・ネット 学生スタッフ合同研修会を実施しました

8月5日(火) ボアソナード・タワー 26階スカイホールにて、ピア・ネットに所属する学生スタッフの合同研修会が開催されました。40名超の学生スタッフが一堂に会し、職員や教員によるグループワークなどを実施しました。

キャリアセンター市ヶ谷事務課 就職支援担当 栗山豊太主任による「ピア・ネット活動を将来に活かすには？」と題した研修では、ピア・ネットの活動におけるプログラム実施の難易度は自ら設定できること、工夫・努力、失敗・苦勞から企業でも役に立つ実践的な力を身に付けることができることの説明がありました。最後には就職データに基づく解説も行われ、1・2年生も数年後の就職活動を意識し、自然と身の引き締まるような内容となりました。



ペーパータワーのグループワークに取り組みました

鈴木美伸先生による「ビジネス現場におけるチームビルディング」と題した研修では、日頃の活動におけるチームワークに焦点をあてたグループワークが実施され、学生スタッフは短時間で頭をフル回転させ、メンバーと共にチーム方針に基づいてアウトプットすることの難しさを体験しました。誕生日順に円陣に並び換えるワークでは、周りの人と短時間に意思疎通を図り、迅速に行動することを経験し、またA4用紙でなるべく高いタワーを作成するワークでは、チームのメンバーと協力しながら、知恵を絞って他のチームとタワーの高さを競い合いチームワークの大切さを学びました。また、鈴木先生からは、夏のうちに気になる「偉人の本」を1冊読破するようアドバイスがありました。

研修会終了後、会場をラウンジに移し、ピア・ネット交流会(懇親会)も実施しました。学生たちは、すぐに他のユニットの学生スタッフとも打ち解け、食事をしながらじっくり話をするなど、今回の合同研修を通じて、ピア・ネットの輪がいつそう広がったのではないのでしょうか。長時間に亘る研修であったにも関わらず、学生スタッフの積極的な姿勢が随所に見受けられ、大変充実した研修会となりました。



日頃の活動の積み重ねが将来にも活きるとの説明がありました



チームビルディングの重要性をあらためて理解しました



研修終了後に学生スタッフ全員で記念撮影

## 2014年8月23日(土)～24日(日) 学生FDスタッフは「学生FDサミット2014夏」に参加しました。

このたび、京都産業大学で行われた「学生FDサミット2014夏～あなたがキツク未来～」に2人の学生FDスタッフが参加しました。

ポスターセッションへの参戦、しゃべり場での意見交換、懇親会での懇談、分科会での情報収集を行い、充実な二日間を過ごすことができました。ポスターセッションでは、手作りのポスターが大人気で、活動内容の一環である「学生が選ぶベストティーチャー賞」も、来場の各大学の学生、教職員に大変注目されました。



みんなのアイデアが集結した手作りポスターです



はじめての実施となる「学生が選ぶベストティーチャー賞」について、たくさんのアドバイスをいただきました

### ●参加した学生FDスタッフの声

- ・FDの活動についてメンバーが学ぶ機会を作りたい!
- ・来年以降、活動していく上で法政大学の過去の取り組みや他大学の取り組み、学生FDサミットなどについて知ることはとても大切だ
- ・この2日間で、FD活動は大学によって様々な形態があることが分かった。しかし、どんな形態でも、大学をより良くしたいという真剣な思いが在ることは共通していたように思う。これからの法政でのFD活動では、今回学んだことを還元しつつ、そういった思いも忘れずにいたい



他大学の学生スタッフ、教職員に囲まれた風景です

## ◆編集後記◆

夏休みにボランティアに参加した学生は、活動を通じて多くのことを学ぶことができたようです。本学と夕張市の結びつきは強く、毎年「夕張まちづくりボランティア」の活動を実施しています。夕張市長の鈴木直道氏は本学OBで、体育会ボクシング部の主将も務めたスポーツマン。ハンガリー精神と強じんな体力で夕張市政の改革に取り組んでいます。授業以外の「学び」の機会を提供できるようにピア・ネットは今後も各ユニットと学生スタッフが一緒になって活動を進めてまいります。ピア・ネット・マンスリーについてのご感想をお待ちしております。